

一般教育クラスへの生徒参加に関する評価

生徒: _____

学年、科目、クラス

期間: _____

教室

教師: _____

準備期間: _____ 部屋 _____

数: クラス内の生徒数: _____

評価完了期限: _____

_____ 日付: _____

方法: 1. 生徒が特定の一般教育クラスに約 1 週間参加した後で、チームはこの評価ツールのセクション I と II に識別されている全ての能力を評価します。

スコア方法。+: 生徒が一貫性を持って実行できる項目。+/-: 生徒が時には実行できるが一貫性のない項目。-: 生徒がほとんどできない、または稀にしか実行できない項目。NA: 生徒/クラスに適切でない項目

- 2. 個別の生徒に対して、教育を強調すべき約 5 つの優先項目を **丸** で囲みます。
- 3. 丸で囲んだ項目のそれぞれに対する目的を記入し、次いで関連の教育プログラムを立案します。
- 4. 学年期間中に少なくとも、もう 2回、全ての項目に関する生徒の進展を評価します。必要に応じて改訂します。

I. 教室のルーチンと活動

	日付:			
1. 時間通りにクラスに現れる。				
2. 時間通りにクラス内に着席する。				
3. 状況の手がかり(例: 座席、活動の変更)に応じて、授業中に移行期の活動を実行する。				
4. 作業を開始する。				
5. 作業を継続する。				
6. 順応せずに一部のクラス活動に参加する。				
7. 作業を終了させる。				
8. 教室のルーチンに起こる異常な変化に耐える。				
9. クラスの規則に従う。				
10. 必要に応じて、材料を探したり持参する。				
11. 必要な場合は、クラスと同僚達と材料を分かち合う。				
12. 材料を意図した目的に使用する。				
13. 使用後に材料を片付ける。				
14. 教室の材料と装置を安全に使用する。				
15. パートナーと協力して作業する。				
16. 小さなグループで協力して作業する。				
17. 競合学習作業を実行する。				
18. 素早く援助を受け入れる。				
19. 自分自身の作業(モデルが与えられた場合)の質を評価する。				
20. 問題がなくても、批判・修正に対応して行動変更に努める。				